

令和7年度須崎港・高知港合同テロ対策訓練実施計画

1 訓練目的

平成16年度に設置した須崎港・高知港の両港保安委員会が合同でテロ対策訓練を実施することにより、関係機関の連携及び対応を確認するとともに、国際港湾におけるテロ等の危害行為に対する事案対応能力の向上を図る。

また、訓練広報により、県民の国際テロリズムに対する危機意識向上を促す。

2 訓練実施日時

令和7年12月18日（木）午後2時頃から午後3時頃までの間

（中止は、午前7時30分を目処に訓練参加機関と調整の上、判断する）

3 訓練実施場所

高知県須崎市港町 須崎港 15,000 トンバース及び付近海上

（別添1「訓練実施場所図」のとおり）

4 主催

須崎港保安委員会、高知港保安委員会

（事務局：高知県土木部港湾・海岸課）

5 参加機関

- (1) 須崎警察署（須崎港港湾危機管理担当官）
- (2) 高知海上保安部（須崎港港湾危機管理副担当官、高知港港湾危機管理担当官）
- (3) 高知東警察署（高知港港湾危機管理副担当官）
- (4) 高知南警察署（高知港港湾危機管理副担当官）
- (5) 高知県警察本部警備部機動隊
- (6) 神戸税関高知税関支署
- (7) 高松出入国在留管理局高知出張所
- (8) 国土交通省四国運輸局高知運輸支局
- (9) 国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所
- (10) 高知県土木部港湾・海岸課

6 訓練想定

内閣官房「空港・港湾水際危機管理チーム」から須崎港港湾危機管理担当官である須崎警察署長に対し、

「須崎港へ入港予定の貨物船に、某国で破壊活動を行ったテロリストが乗船して

いる模様。」

とのテロ情報が伝達された。

上記情報に基づき須崎警察署長が須崎港・高知港港湾危機管理コアメンバーを非常招集し、須崎港 15,000 トンバースに着岸した貨物船に対し警戒を実施していたところ、乗組員に扮したテロリストが、国内の通謀者と連携して車両と小型船を利用して逃亡を図ったもの。

7 訓練項目及び訓練内容

(1) 情報伝達、非常招集訓練

内閣官房からの情報伝達を受け、須崎港港湾危機管理担当官から須崎港・高知港危機管理コアメンバーに対し情報伝達を行うとともに、事案対応のため非常招集を要請する。

(2) テロ対策実動訓練

ア 陸上部訓練（警察、海保、入管、税関、県）

- ・客船の新港岸壁への着岸にあわせて、岸壁及び海上において警戒監視を実施
- ・入国審査及び手荷物検査
- ・岸壁上に逃走を図ったテロリストの制圧・確保

イ 船上部訓練（海保）

- ・貨物船内に逃走を図ったテロリストの搜索

ウ 海上部訓練（海保）

- ・ボートで逃走を図ったテロリストの制圧・確保

※ 実動訓練の詳細は、参加各機関がその詳細を定めて実施する。

(3) 訓練進行

別添 2 「訓練進行表」のとおり

8 訓練内容に関する問い合わせ先

(1) 須崎警察署 警備課 警備課長 高橋 義和

連絡先 0889-42-0110

(2) 高知海上保安部 警備救難課 警備救難課長 安影 勇也

連絡先 088-832-7112

訓練実施場所図

須崎市港町 須崎港 15,000 トンバース及び付近海上



訓練進行表

12月18日(木)

時間	訓練日程	備考
0730	訓練実施の有無の決定(悪天候等の場合のみ FAX 送信)	訓練実施連絡 (FAX)
0830	訓練準備要員現地集合	須崎警察署、警備第一課、機動隊
0900	情報伝達訓練(コアメンバーに対する連絡)	情報伝達訓練(FAX)
0930	訓練実働部隊集合・事前訓練	警察・海保・入管・税関
1330	コアメンバー集合・事前説明	現地本部前
1400	訓練開始申告(須崎警察署警備課長)	整列
	テロ対策実働訓練	
	1 陸上部訓練	1 警察、海保 入管、税関、県
	2 船上部訓練	2 海保
	3 海上部訓練	3 海保
1445	訓練終了申告(須崎警察署警備課長)	整列
	訓練講評 須崎港港湾危機管理担当官	須崎警察署長
1500	訓練終了(解散)	